

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年12月26日
【四半期会計期間】	第32期第1四半期（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）
【会社名】	株式会社フォーバル
【英訳名】	FORVAL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 將典
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
【電話番号】	03（3498）1541（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 加藤 康二
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区佐賀一丁目1番3号
【電話番号】	03（6826）8881
【事務連絡者氏名】	取締役 加藤 康二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年8月12日に提出した第32期第1四半期（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、優成監査法人により、再度四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1)業績の状況

(2)財政状態

第4 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1)四半期連結貸借対照表

(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

独立監査人の四半期レビュー報告書

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第31期 第1四半期 連結累計期間	第32期 第1四半期 連結累計期間	第31期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(百万円)	7,932	7,896	32,287
経常利益(百万円)	101	<u>38</u>	<u>665</u>
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失(△)(百万円)	△4	<u>4</u>	<u>464</u>
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	10	<u>180</u>	<u>795</u>
純資産額(百万円)	4,933	<u>5,659</u>	<u>5,714</u>
総資産額(百万円)	14,835	<u>15,504</u>	<u>16,277</u>
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額(△)(円)	△0.36	<u>0.34</u>	<u>34.25</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	30.0	<u>33.5</u>	<u>32.0</u>

(省略)

(訂正後)

回次	第31期 第1四半期 連結累計期間	第32期 第1四半期 連結累計期間	第31期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(百万円)	7,932	7,896	32,287
経常利益(百万円)	101	<u>44</u>	<u>671</u>
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失(△)(百万円)	△4	<u>9</u>	<u>331</u>
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	10	<u>186</u>	<u>618</u>
純資産額(百万円)	4,933	<u>5,488</u>	<u>5,537</u>
総資産額(百万円)	14,835	<u>15,333</u>	<u>16,100</u>
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額(△)(円)	△0.36	<u>0.70</u>	<u>24.41</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	30.0	<u>33.1</u>	<u>31.5</u>

(省略)

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

(省略)

利益面では売上総利益が前年同期並みとなった一方で、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ79百万円増加したことで、営業利益は20百万円（前年同期比79.0%減）、経常利益は38百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

また、前年同期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額32百万円、事務所移転費用18百万円等の特別損失の計上が無くなったことで特別損益が前年同期に比べ49百万円改善したこと等により、四半期純利益は4百万円（前年同期は4百万円の損失）となりました。

(省略)

(訂正後)

(省略)

利益面では売上総利益が前年同期並みとなった一方で、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ72百万円増加したことで、営業利益は26百万円（前年同期比72.4%減）、経常利益は44百万円（前年同期比55.5%減）となりました。

また、前年同期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額32百万円、事務所移転費用18百万円等の特別損失の計上が無くなったことで特別損益が前年同期に比べ49百万円改善したこと等により、四半期純利益は9百万円（前年同期は4百万円の損失）となりました。

(省略)

(2) 財政状態

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ772百万円減少し15,504百万円となりました。

流動資産は9,225百万円となり、前連結会計年度末比1,026百万円の減少となりました。これは主として受取手形及び売掛金の減少655百万円、未収入金の減少281百万円によるものです。

固定資産は6,274百万円となり、前連結会計年度末比253百万円の増加となりました。これは主として時価上昇に伴う投資有価証券の増加313百万円によるものです。

流動負債は6,131百万円となり、前連結会計年度末比839百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少534百万円、賞与引当金の減少157百万円によるものです。

固定負債は3,713百万円となり、前連結会計年度末比121百万円の増加となりました。これは主として繰延税金負債の増加128百万円によるものです。

純資産は5,659百万円となり、前連結会計年度末比55百万円の減少となりました。これは主として配当による利益剰余金の減少によるものです。

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ766百万円減少し15,333百万円となりました。

流動資産は9,225百万円となり、前連結会計年度末比1,026百万円の減少となりました。これは主として受取手形及び売掛金の減少655百万円、未収入金の減少281百万円によるものです。

固定資産は6,104百万円となり、前連結会計年度末比260百万円の増加となりました。これは主として時価上昇に伴う投資有価証券の増加313百万円によるものです。

流動負債は6,131百万円となり、前連結会計年度末比839百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少534百万円、賞与引当金の減少157百万円によるものです。

固定負債は3,713百万円となり、前連結会計年度末比121百万円の増加となりました。これは主として繰延税金負債の増加128百万円によるものです。

純資産は5,488百万円となり、前連結会計年度末比48百万円の減少となりました。これは主として配当による利益剰余金の減少によるものです。

第4 【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
(中略)		
固定資産		
有形固定資産	955,364	966,951
無形固定資産		
のれん	939,239	913,625
その他	306,490	276,734
無形固定資産合計	<u>1,245,730</u>	<u>1,190,360</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	2,962,391	3,275,927
その他	1,386,649	1,366,284
貸倒引当金	△529,252	△524,761
投資その他の資産合計	<u>3,819,789</u>	<u>4,117,450</u>
固定資産合計	<u>6,020,883</u>	<u>6,274,762</u>
繰延資産	5,029	4,360
資産合計	<u>16,277,571</u>	<u>15,504,601</u>
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	<u>△2,527,948</u>	<u>△2,726,733</u>
自己株式	△101,562	△101,581
株主資本合計	<u>4,009,263</u>	<u>3,810,459</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,203,050	1,388,842
為替換算調整勘定	△851	△1,388
その他の包括利益累計額合計	<u>1,202,199</u>	<u>1,387,454</u>
少数株主持分	<u>502,958</u>	<u>461,505</u>
純資産合計	<u>5,714,421</u>	<u>5,659,418</u>
負債純資産合計	<u>16,277,571</u>	<u>15,504,601</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
(中略)		
固定資産		
有形固定資産	955,364	966,951
無形固定資産		
のれん	<u>762,273</u>	<u>742,979</u>
その他	306,490	276,734
無形固定資産合計	<u>1,068,763</u>	<u>1,019,713</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	2,962,391	3,275,927
その他	1,386,649	1,366,284
貸倒引当金	<u>△529,252</u>	<u>△524,761</u>
投資その他の資産合計	<u>3,819,789</u>	<u>4,117,450</u>
固定資産合計	<u>5,843,916</u>	<u>6,104,116</u>
繰延資産	5,029	4,360
資産合計	<u>16,100,604</u>	<u>15,333,955</u>
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	<u>△2,661,363</u>	<u>△2,855,383</u>
自己株式	<u>△101,562</u>	<u>△101,581</u>
株主資本合計	<u>3,875,848</u>	<u>3,681,809</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,203,050	1,388,842
為替換算調整勘定	<u>△851</u>	<u>△1,388</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>1,202,199</u>	<u>1,387,454</u>
少数株主持分	<u>459,407</u>	<u>419,508</u>
純資産合計	<u>5,537,454</u>	<u>5,488,772</u>
負債純資産合計	<u>16,100,604</u>	<u>15,333,955</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	7,932,336	7,896,122
売上原価	5,744,190	5,705,018
売上総利益	2,188,145	2,191,103
販売費及び一般管理費	2,091,688	<u>2,170,810</u>
営業利益	96,456	<u>20,293</u>
(中略)		
経常利益	101,133	<u>38,635</u>
(中略)		
税金等調整前四半期純利益	48,685	<u>35,683</u>
法人税、住民税及び事業税	33,784	28,125
法人税等調整額	14,362	12,648
法人税等合計	48,146	40,774
<u>少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)</u>	538	<u>△5,090</u>
少数株主利益又は少数株主損失(△)	5,431	<u>△9,759</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,892	<u>4,668</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	7,932,336	7,896,122
売上原価	5,744,190	5,705,018
売上総利益	2,188,145	2,191,103
販売費及び一般管理費	2,091,688	<u>2,164,490</u>
営業利益	96,456	<u>26,613</u>
(中略)		
経常利益	101,133	<u>44,956</u>
(中略)		
税金等調整前四半期純利益	48,685	<u>42,004</u>
法人税、住民税及び事業税	33,784	28,125
法人税等調整額	14,362	12,648
法人税等合計	48,146	40,774
<u>少数株主損益調整前四半期純利益</u>	538	<u>1,229</u>
少数株主利益又は少数株主損失(△)	5,431	<u>△8,203</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,892	<u>9,433</u>

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<u>少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)</u>	538	<u>△5,090</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,711	184,586
持分法適用会社に対する持分相当額	△307	572
その他の包括利益合計	10,403	185,159
四半期包括利益	10,941	<u>180,068</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,411	<u>189,923</u>
少数株主に係る四半期包括利益	5,530	<u>△9,855</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<u>少数株主損益調整前四半期純利益</u>	538	<u>1,229</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,711	184,586
持分法適用会社に対する持分相当額	△307	572
その他の包括利益合計	10,403	185,159
四半期包括利益	10,941	<u>186,388</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,411	<u>194,688</u>
少数株主に係る四半期包括利益	5,530	<u>△8,299</u>

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	89,006千円	85,966千円
のれんの償却額	41,983千円	<u>44,185千円</u>

(訂正後)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	89,006千円	85,966千円
のれんの償却額	41,983千円	<u>37,865千円</u>

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

(省略)

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(省略)

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	49,994
「その他」の区分の利益	3,689
セグメント間取引消去	△3,280
のれん償却額	<u>△36,771</u>
棚卸資産調整額	6,661
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>20,293</u>

(省略)

(訂正後)

(省略)

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(省略)

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	49,994
「その他」の区分の利益	3,689
セグメント間取引消去	△3,280
のれん償却額	<u>△30,451</u>
棚卸資産調整額	6,661
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>26,613</u>

(省略)

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	△0円36銭	0円34銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△) (千円)	△4,892	4,668
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(千円)	△4,892	4,668
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,563	13,563
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(省略)

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	△0円36銭	0円70銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△) (千円)	△4,892	9,433
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(千円)	△4,892	9,433
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,563	13,563
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(省略)

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月25日

株式会社フォーバル

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員 公認会計士 加藤善孝 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 須永真樹 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバル及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年8月10日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。